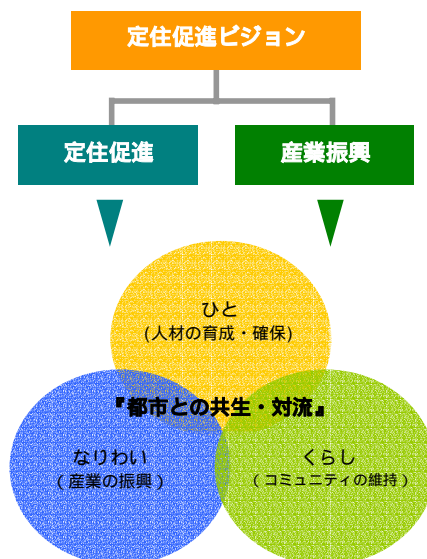


江津市定住促進ビジョン

- 「都市との共生・対流」の実現に向けて -



平成19年12月

江津市・江津市定住推進協議会

江津市定住促進ビジョン - 「都市との共生・対流」の実現に向けて -

定住促進に向けた取り組み

施策の体系化

理念	柱	視点	重点施策	施策
都市との共生・対流	定住促進 「住む」を促進するために	(コミュニティの維持) くらし	I. 農山漁村集落の維持	定住促進のための環境整備
			II. U・Iターン者の確保のため「住む」「働く」「暮らしを楽しむ」の一体的な情報提供	生活環境の充実
			III. 農山漁村や農林水産業を下支えする人材・担い手の確保	人材の育成と確保
	産業振興 「住み続ける」ために	(人材の育成確保) ひと	IV. 人材を育て、確保するための「ふるさと教育」の推進	ふるさと教育の推進
			V. 産業人材の育成と確保	雇用の促進
			VI. 農林水産業経営の法人化、6次産業化(高付加価値化)	農林水産業の振興
		(産業振興) なりわい	VII. 企業立地の促進	商工業の振興
			VIII. 地域産業の活性化	
			IX. 観光・交流産業の育成	観光・交流産業の振興

重点施策

<p>「住む」を促進する施策 ～定住の促進～</p> <ul style="list-style-type: none"> 農山漁村集落の維持 [1]空き家を活用した定住と交流の促進 [2]農地流動化及び農林水産物直売システムの確立 農地流動化システムの確立 農林水産物直売システムの確立 遊休農地の活用 U・Iターン者の確保のため「住む」「働く」「暮らしを楽しむ」の一体的な情報提供 農山漁村や農林水産業を下支えする人材・担い手の確保 人材を育て、確保するための「ふるさと教育」の推進 初等教育の段階から、地域に誇りを持つ「ふるさと教育」を推進 山村留学などの受入れ体制の整備 	<p>基本理念 「都市との共生・対流」</p> <p>基本視点 くらし (コミュニティ) ひと (人材) なりわい (産業)</p> <p>～都市と地方(農山漁村)の相互補完と役割分担～</p>	<p>「住み続ける」ための施策 ～産業の振興～</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業人材の育成と確保 産学連携による人材育成 農林水産業経営の法人化、6次産業化(高付加価値化) 法人化 農林水産業の高付加価値化 農商工連携による農林水産物の競争力強化 企業立地の促進 地域の資源をセールスポイントとした誘致活動の促進 協力企業への誘致活動の促進 企業誘致体制の強化 誘致対象業種の設定 企業誘致による産業クラスター形成の促進 工場適地の立地環境の向上 物流インフラの整備による誘致ポテンシャルの高揚 企業誘致のフォローアップ活動の充実
<p>重点施策の考え方</p> <p>「住む(定住)」を促進し、働き場を確保して「住み続ける」ために、3年を1スパンとして集中的に取り組むべき施策を9項目設定し、2016年度を目標に推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域産業の活性化 地域産業の競争力強化への支援 地域資源を活かした産業の振興 創業の促進 経営の基盤強化への支援 経営合理化や企業連携(企業合併) 経営の多角化及び新分野進出を促進 地域商業の活性化 観光・交流産業の育成 	

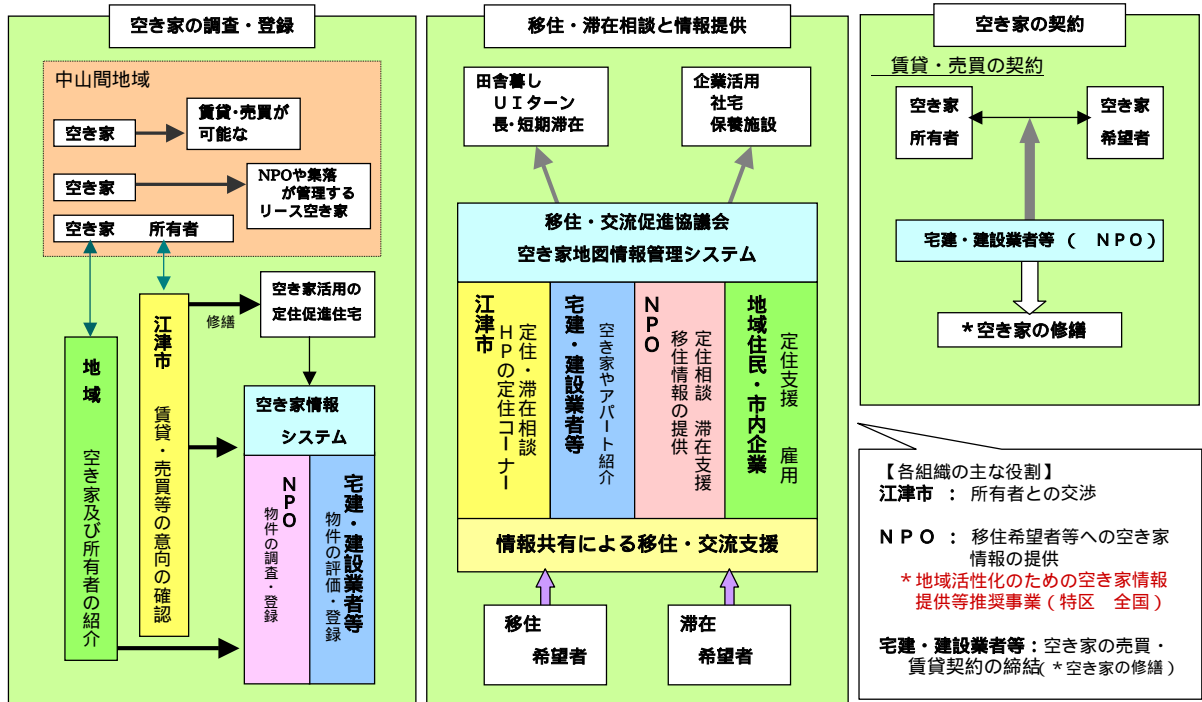
重点施策 農山漁村集落の維持

[1] 空き家を活用した定住と交流の促進

空き家を地域資源と位置づけ、都市からの移住や滞在等に活用します。

- ・産・民・官の連携による空き家活用の推進
- ・空き家地図情報管理システムを構築し、本市の住居情報を集積・管理し、WEB 情報として配信
- ・空き家活用マニュアルを作成し、空き家の利用及び登録を促進
- ・空き家の活用促進にかかる意識啓発
- ・空き家を活用した定住促進住宅の整備

図表-産民官の連携による推進体制



[2] 農地流動化及び農林水産物直売システムの確立

農地の流動化システムにより農業の担い手へ農地を集積し、生産性の高い農業を展開するとともに農地の遊休化を防止します。

農地流動化システムの確立

- ・「農地・水・環境保全向上対策」及び「中山間地域等直接支払制度」による集落協定の締結
- ・江津市担い手育成総合支援協議会による担い手支援
- ・特定法人貸し付け事業の活用

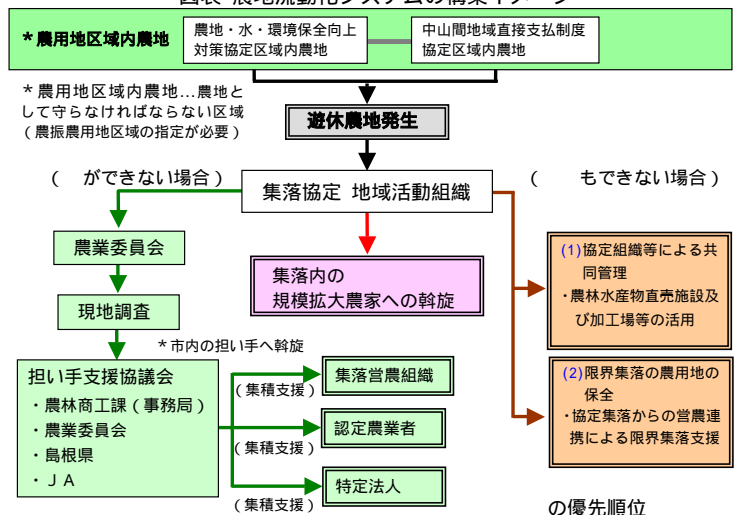
農林水産物直売システムの確立

- ・農林水産物直売施設の整備
- ・農林水産物集荷システムの確立

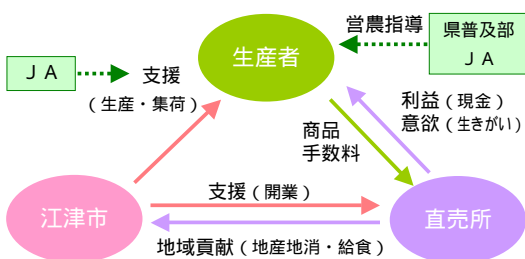
遊休農地の活用

- ・遊休農地の復元 ・家畜(牛など)の放牧
- ・新規就農者への貸付

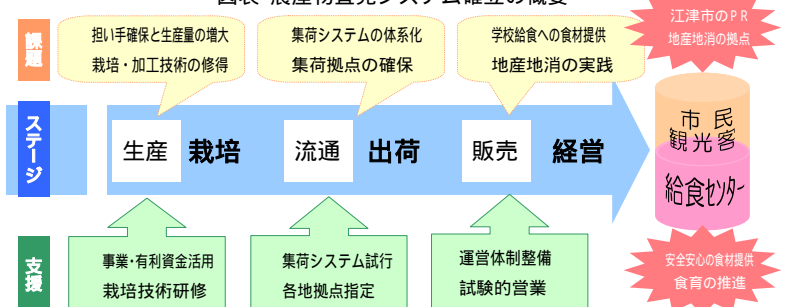
図表-農地流動化システムの構築イメージ



図表-直売所における支援・連携システム



図表-農産物直売システム確立の概要

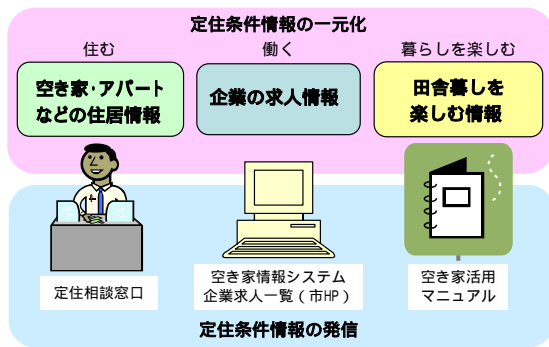


重点施策 U・Iターン者の確保のため「住む」「働く」「暮らしを楽しむ」の一体的な情報提供

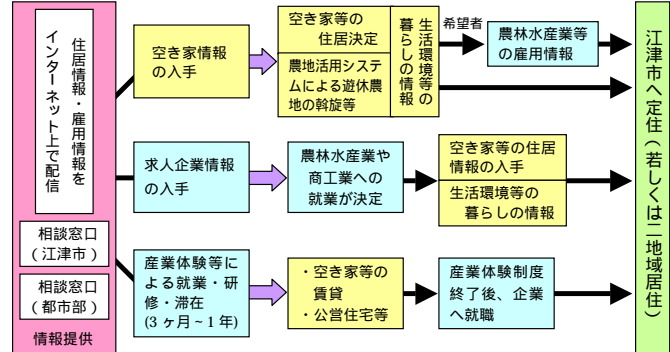
「住むところの住宅情報」「働くところの雇用情報」「田舎暮らしを楽しむための情報」を一体的に提供し、移住の動機づけを高めます。

- ・空き家の賃貸・売買情報、公・民営住宅や分譲地の紹介、長期や短期などの一時的な滞在に活用できる空き家や施設など、多様な選択肢のある住宅情報を提供(空き家地図情報管理システム)
- ・市内及び都市部の定住相談窓口の設置
- ・「住むところ」「働くところ」「田舎暮らしを楽しむ」の一体的な情報提供
- ・企業等との連携を図りながら、求人企業にかかる情報を提供
- ・NPO法人や地域住民、企業が実施する田舎暮らし体験ツアーなどの活動支援
- ・高速通信環境(光ケーブル)の整備による定住環境の充実

図表-定住情報の提供イメージ



図表-定住(支援)の流れ

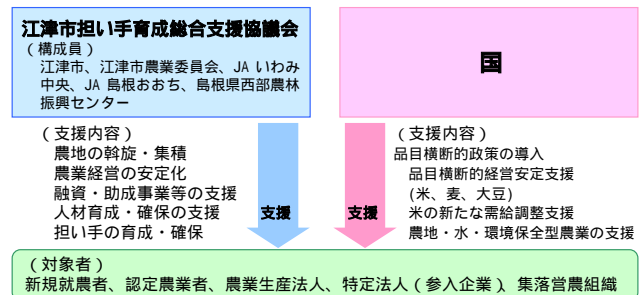


重点施策 農山漁村や農林水産業を下支えする人材・担い手の確保

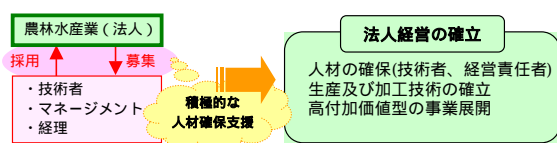
農林水産業への就業を希望する者への効果的な情報発信と、居住できる空き家などの情報を附帯して提供する仕組みを確立し、人材を誘致します。

- ・生産管理などマネジメント技術を備えた人材(団塊の世代等)や農林水産業への就業を志す若者など、都市部の人材を誘致するための情報発信や人材確保支援
- ・農業の担い手支援
- ・農林水産業の法人化の推進と人材確保支援
- ・(財)ふるさと島根定住財団の産業体験事業受入者の拡大

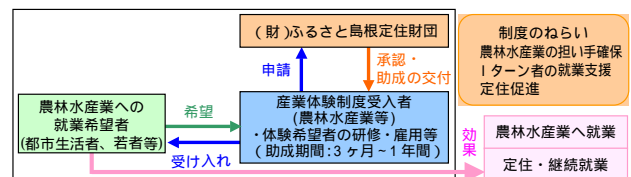
図表-担い手支援の流れ



図表-農林水産業の法人化の推進と人材確保支援の流れ



図表-産業体験事業の流れ

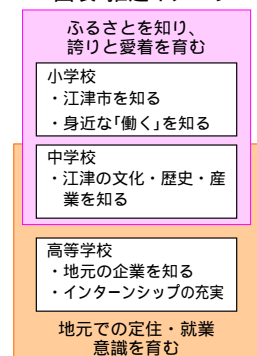


重点施策 人材を育て、確保するための「ふるさと教育」の推進

「ふるさと教育」を推進し、地域への誇りや愛着を育てるとともに、地域の企業を知る機会やインターンシップなどの充実を図り、地域での就業志向を高めていきます。

- 初等教育の段階から、地域に誇りを持てる「ふるさと教育」を推進
- ・[小学校]身近な「働く」に関心を持つ、伝統工芸や特産品など江津のよさを知る、自然に触れる
- ・[中学校]文化・歴史・産業を知る、仕事を体験し仕事を理解する、モノづくりの楽しさを知る
- ・[高等学校]職場体験の実施日数の拡大と充実、地元の人等による職業講話、インターンシップ等による地元企業の理解促進と定住意識の啓発
- 山村留学などの受け入れ体制の整備
- ・本市の伝統芸能、文化、歴史や農業体験などを活かし、都市部の子供たちの山村留学等を受け入れる体制づくりを推進

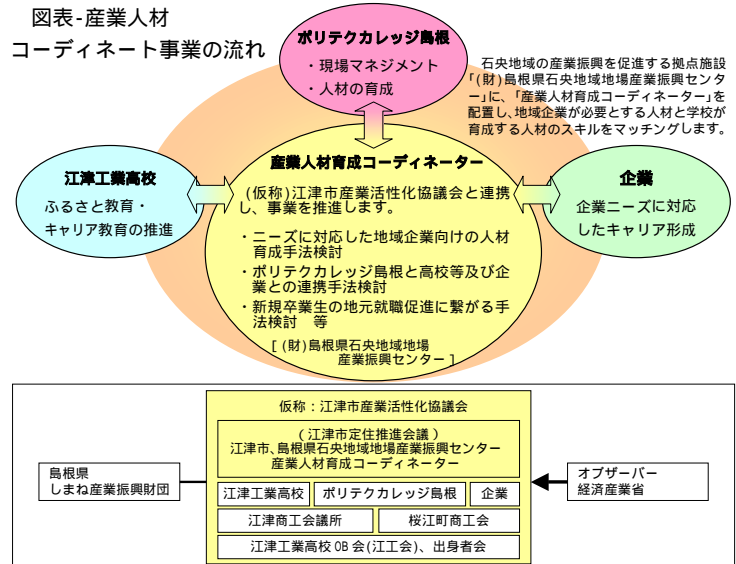
図表-推進イメージ



重点施策 産業人材の育成と確保

産・民・学・官連携により、本市の生産・経済活動を支え、地域を支える産業人材の育成や確保に向けた取り組みを進めます。

- 産学連携による人材育成
- 産・民・学・官の推進体制の設置
- 産業人材育成コーディネーターの設置による産学連携の促進
- 高校等と中小企業の連携による産業人材育成事業の推進
- 求人企業と求職者のマッチング(江津市求人企業合同説明会、定住相談、江津市ホームページを活用した求人企業情報の発信)
- 高校生向け企業ガイダンスの開催
- 経営や工程管理などのマネジメントスキルを備えた団塊の世代など、都市部の人材を誘致するための情報発信や人材確保支援

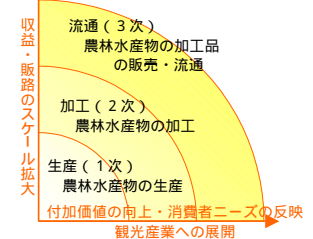


重点施策 農林水産業経営の法人化、6次産業化(高付加価値化)

生産から加工、流通までの6次産業化や有機農業を推進するとともに、農林水産業経営の法人化を支援し、促進します。また、支援制度などを有効に活用し、農林水産業の高付加価値化を促進します。

- 法人化
- 農業生産法人の設立支援
 - 農外企業の参入支援
 - 林業及び水産業の法人化支援
- 農林水産業の高付加価値化
- 生産(第1次)・加工(第2次)・販売(第3次)による6次産業化の促進
 - 有機農業・有機食品の推進
 - 農商工連携による農林水産物の競争力強化
 - 生産・加工・流通の産業連携の促進
 - 産業クラスターの形成支援

図表-農林水産業の6次産業化の流れ

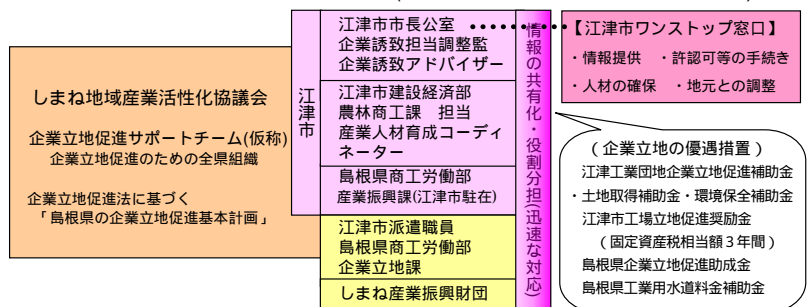


重点施策 企業立地の促進

県との連携を強化するとともに、企業誘致を推進するための体制を整備し、より効果的な誘致活動を展開します。

- 地域の資源をセールスポイントとした誘致活動の促進
- 産業人材育成にかかる教育環境と、産業人材育成プログラムをセールスポイントとした誘致活動の展開
 - 豊富な工業用水の提供が可能なることを背景に、生産工程に水資源を必要とする業種・業態への誘致活動を展開
 - 協力企業への誘致活動や誘致企業と県内企業とのマッチング(技術分野及び人材分野)等を充実、強化
 - 企業誘致体制の強化
 - 情報提供、許認可等の手続き、人材確保及び地元調整などが一つの窓口で行えるワンストップサービス体制の強化
 - 迅速かつ的確な情報収集を可能とするための外部人材の配置
- 誘致対象業種の設定
- 生産技術力、製品分野の成長性、本市の施策との関連性等を基準とした産業の集積(機械金属関連産業、食品関連産業、特認業種)企業誘致による産業クラスター形成の促進
 - 市内産業の高度化や活性化などに波及効果の高い企業の誘致を進め、産業クラスターの形成と地域における雇用の創出を含む付加価値化を促進
 - 工場適地の立地環境の向上
- 江津工業団地における高速通信環境(光ケーブル)の整備を促進する等、新たな設備投資につながる立地環境を向上
- 遊休施設を貸工場(事務所)化する仕組みづくり
 - 物流インフラの整備による誘致ポテンシャルの高揚
 - 誘致ポテンシャルの高揚に繋がる山陰自動車道等の物流インフラの整備
 - 企業誘致のフォローアップ活動の充実
 - 誘致した企業に対して企業訪問を徹底し、本社との関係・人脈を強化することにより、相談への的確な対応や業容拡大への提案活動を充実

図表-企業誘致促進のための体制(ワンストップ支援、フォローアップ)



重点施策 地域産業の活性化

産・民・学・官の連携を強化し、企業の目線に立った施策を推進するとともに、外貨獲得型産業の製造業の振興に併せ、内需産業である商業の活性化を図ります。また、企業の経営革新や新規分野への進出支援、農林水産物の競争力強化と新たな産業集積や展開を促進します。

地域産業の競争力強化への支援

- ・ 将来の産業界を担うスペシャリストの育成事業等の活用
- ・ 企業間連携を促す技術交流研究会の開催
- ・ 地域資源を活かした産業の振興
- ・ 中小企業地域資源活用プログラム施策の活用
- ・ 地域資源産業活性化基金による支援制度の活用
- ・ 「農商工連携」促進等による地域活性化のための支援制度の活用

創業の促進

- ・ 起業&企業家交流サロンの開催
- ・ 戦略的人材派遣による技術移転の促進
- ・ 出身者会等の人的ネットワークの活用
- ・ 新分野進出の促進

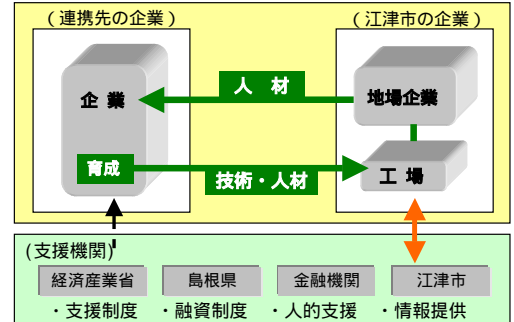
経営の基盤強化への支援

- ・ 商工団体を通じた市内企業に対する経営相談及び指導
- ・ 企業ニーズに沿った融資制度の運営
- ・ 経営合理化や企業連携(企業合併)、経営の多角化及び新分野進出を促進

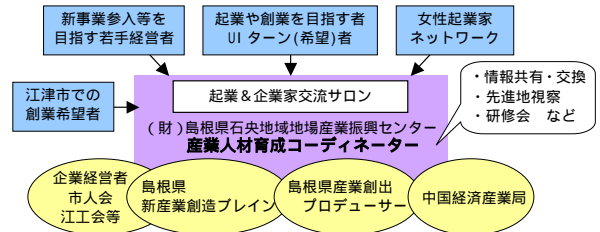
< 主として建設産業対策 >

- ・ 関係機関が連携し、経営合理化や企業合併等をテーマとしたセミナーを実施
- ・ 経営の多角化や新分野進出を検討する建設業者に対するアドバイザー派遣制度を活用(県制度)
- ・ 地域商業の活性化
- ・ 地域資源や観光事業と連携したイベントの開催、店舗の個性化等を支援
- ・ 商業団体の育成や商工会議所・商工会等の組織強化を進めるとともに、インターネット等情報技術の活用等による商店経営の合理化や近代化の促進

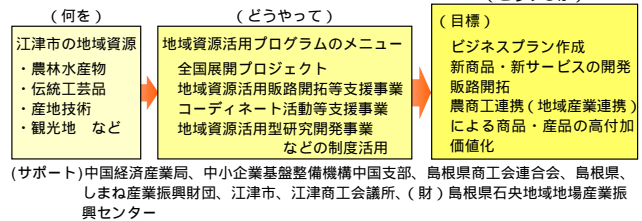
図表-都市部企業との連携による新分野進出イメージ



図表-起業&企業家交流サロンの開催イメージ



図表-「中小企業地域資源活用プログラム」の活用イメージ(どうするか)

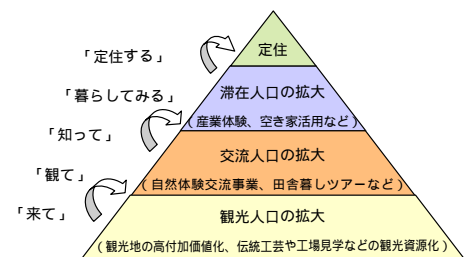


重点施策 観光・交流産業の育成

観光資源の充実とネットワーク化を図り、「交流」「滞在」「定住」というそれぞれのステップに特色と魅力を持たせる取り組みを推進します。

- ・ 本市出身者や市人会などとの連携により観光交流や定住等を促進
- ・ 農林水産体験、伝統工芸体験や工場見学などによる産業観光の育成
- ・ 世界遺産「石見銀山」や島根海洋館「アクアス」と市内観光地を結ぶ観光ルートの設定
- ・ 観光施設や地域資源をつなぐ市内周遊ルート(新・ぐるっと人麻呂！江津物語)づくり
- ・ 有温泉等の観光資源の高付加価値化と情報発信による観光・交流人口の拡大
- ・ 有温泉の泉源開発及び観光基盤整備の推進
- ・ 観光情報発信機能を備えた道の駅の整備

図表-観光・交流促進による「江津市定住ピラミッド」



ビジョン推進に向けて

重点施策を推進するための体制を整備します。

